

授業科目名	母 性 看 護 I			担当教員	永松 美雪、石山 さゆり 中村 美佳、園田 希	
開講年次	2 年後期	セメスター	4		時間数(単位数)	30 (2)
必修選択	必修	授業形態	講義		使用教室	
授業の目的	女性の各ライフステージにおける健康課題、女性特有の疾患に対する看護の特性、周産期看護の基礎となる周産期学の知識を学び、女性の生涯を通じた看護や健康支援を理解する。					
到達目標	1. 女性の健康は性周期ならびに性ホルモン変動に大きく影響されていることを知ることができる。 2. 女性のライフサイクルの各ステージ（思春期・成熟期・更年期・老年期）の健康課題と支援について知ることができる。 3. 女性特有の疾患に対する看護の特性を知ることができる。 4. 妊娠、分娩、産褥の正常経過と異常について知ることができる。 5. 新生児の生理的変化について知ることができる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目は、女性のライフサイクルの各ステージにおける健康課題、多くの成熟期女性が経験する周産期における看護の基礎的知識を学ぶ科目である。看護の対象となる人々の半数は女性であり、女性特有の健康課題およびその支援や看護について理解することは重要である。また本科目は、3 年前期に開講する母性看護Ⅱの基盤となる科目として位置づけられている。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	○			◎		
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
1	母性看護の基盤となる概念 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状	講義	最近の女性の健康をめぐるトピックス情報を集める（予習）		2 時間	永松
2	女性のライフサイクルにおける形態・機能 女性のライフサイクルと家族	講義	性周期について図式化し説明できるよう予習する		1 時間	中村
3	思春期における女性の健康課題と支援	講義	思春期における女性の健康課題について予習する		2 時間	永松
4	成熟期における女性の健康課題と支援	講義	成熟期における女性の健康課題について予習する		1 時間	園田
5	更年期・老年期における女性の健康課題と支援	講義	更年期・老年期における女性の健康課題について予習する		1 時間	永松
6	女性生殖器疾患をもつ女性への看護 良性疾患：子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫など 悪性疾患：子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、乳がんなど	講義	女性生殖器疾患（良性疾患、悪性疾患）の看護について予習する		2 時間	園田
7	母性看護における理論と看護過程	講義	看護過程について復習しておく		1 時間	中村
8	妊娠の生理的経過と妊婦・胎児のアセスメント／妊婦の心理・社会的特性	講義	「正常な妊娠」の章末学習課題について予習しておく		2 時間	石山

9	妊娠の異常	講義	流産、切迫早産、妊娠高血圧症候群について予習する	2 時間	中村
10	分娩の生理的経過と産婦・胎児のアセスメント／産婦の心理・社会的特性	講義	「正常な分娩」の章末学習課題について予習しておく	2 時間	石山
11	分娩の異常	講義	前置胎盤、常位胎盤早期剥離、帝王切開術について予習する	2 時間	園田
12	産褥の生理的経過と産婦のアセスメント／産婦の心理・社会的特性	講義	「正常な産褥」の章末学習課題について予習しておく	2 時間	中村
13	産褥の異常	講義	弛緩出血、子宮復古不全、産褥熱について予習する	2 時間	中村
14	新生児の生理的経過とアセスメント	講義	「正常な新生児」の章末学習課題について予習しておく	2 時間	園田
15	母性看護Ⅱ全体のまとめと課題に対するフィードバック	講義	これまでの講義資料を確認し、母性看護Ⅰにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所について整理しておく（予習）	1 時間	永松 石山 中村 園田
先行履修科目					
テキスト		森恵美 他：系統看護学講座 母性看護学 1 母性看護学概論 第 13 版. 医学書院, 2018. 森恵美 他：系統看護学講座 母性看護学 2 母性看護学各論 第 13 版. 医学書院, 2018.			
参考文献		北川真理子 / 内山和美 編集：今日の助産 第 3 版. 南江堂, 2013. 厚生労働統計協会：国民衛生の動向 2018/2019. 厚生労働統計協会, 2018. 堀内成子 編集：パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護 第 2 版. 照林社, 2017. 井上裕美ら 監修：病気がみえる vol.10 産科 第 4 版. MEDIC MEDIA, 2018. 井上裕美ら 監修：病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第 4 版. MEDIC MEDIA, 2018. 仁志田博司 編集：新生児学入門 第 5 版. 医学書院, 2018. 太田操 編集：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第 3 版. 医歯薬出版株式会社, 2017. 佐見由紀子 監修：わたしたちのからだと健康 Vol4 妊娠・出産と健康. 医学映像教育センター, 2008. 齋藤いずみ 監修：分娩経過のアセスメントと看護 Vo6. 分娩 1 ～ 4 期の看護実践. 医学映像教育センター, 2007.			
評価方法		助産師として産婦人科病棟での臨床経験がある教員が、その経験を活かし、女性の生涯を通じた健康支援と妊産褥婦および新生児への看護に必要な理論基盤や知識について講義します。			
教員等の実務経験		定期試験 70%、授業参加度 30% により評価する。			
メッセージ					